

神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

On the grammaticalization of the Vietnamese directional verb

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2013-03-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 村上, 雄太郎, Murakami, Yutaro.(LE Van Cu) メールアドレス: 所属:
URL	https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/1466

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



ベトナム語の方向動詞‘vào’の文法化

—日本語の「こむ」との対照を試みて—

村上雄太郎 (茨城大学)

1. はじめに

ベトナム語では、複合動詞を構成する後項動詞の中には、*ra* (出る), *lên* (上がる), *đi* (行く、去る), *lại* (戻る) のような、具体的な移動を表す語の意味から文法化が起き、動作や状態の開始や増進というアスペクトの意味を表すようになったものがある (Panfilov 1979 やレー 1990, 2002 や Trần Thị Nhân 2005 等)。

本稿では、他の動詞の後につく動詞 *vào* (入る) について、(1) のような「内側への移動」という具体的な方向の移動を表す *vào* と、(2) のような「定着」や「依拠」を表す *vào* と(3) のような「照準」を表す *vào* と、(4) のようなムードの意味を表す *vào* との関連性を考察し、他の動詞に付く *vào* の意味・用法の特徴を明らかにすると同時に、日本語の対応表現「～込む」との対照を試みたい。

(1) Nó chạy vào nhà.

3.SG 走る 家

(彼は家に駆けこんだ)

(2) Nó vịn vào một gốc cây.

3.SG 寄りかかる NUM CLF 木

(彼は木の幹に寄りかかった)

(3) Anh-ta nói thế là nhắm vào tôi.¹

3.M.SG 言う そのように COP 目掛ける 1.SG

(彼の言葉は私に向けられたものだった)

¹ 例文中、ベトナム語の単語をイタリックにするのは強調するためである。また、日本語のグロスとベトナム語のローマ字の区切りとの対応が正確に分かるように、一つのグロスが二つ以上の区切り、つまり二つ以上の音節に対応する場合、音節と音節との間にハイフンを使うことにする。例えば、anh-ta (彼) のように。ベトナム語の正書法では、こういう場合には、ハイフンが使われないのが普通である。

- (4) Con *nhớ* mặc cho *ấm* vào kéo bị cảm.
 2.SG 覚える 着る CONJ 暖かい CONJ PASS 風邪
 (ちゃんと暖かく着込まないと風邪をひいてしまうからね)

具体的には、2節で先行研究を紹介して、続く3節では、形容詞と組み合わせることで他の動詞に付く *vào* の意味・用法を文法化という側面から観察し、4節では、文法化した用法、特にアスペクト・ムード形式としての用法に重点を置きながら *vào* と「こむ」との対照を試みる。5節では、まとめと今後の課題を述べる。

2. 先行研究の紹介

他の動詞につく *vào* の意味・用法についての研究には、Nguyễn Đình Hoà (1972)や Nguyễn Kim Thân (1977)や Phạm Hùng Việt (2004)を挙げることができる。

Nguyễn Đình Hoà (1972)は、他の動詞につく *vào* を“co-verb”と呼び、*buộc* (縛る)、*dính* (くっつく)、*đóng* (閉める) など、閉鎖(closing)や絞り込み(narrowing)や引き締め(tightening)を表す動詞や、*co* (縮む)、*xúm* (寄り集まる) など、周辺から中心への動きを表す動詞 や、*bắn* (撃つ)、*đấm* (こぶしで殴る) など、殴ることや叩くことを表す動詞に付くと記述して、その慣用表現 (idiomatic expression)として *thèm vào* (do not care for...) も取り上げている(p.407)。また、Nguyễn Kim Thân (1977)では、他の動詞の後ろで使われる *vào* を‘phó động từ’ (副動詞) と呼び、その基本的機能は「外側で明るく広い所から、内側で暗く狭い所への移動の方向」を表すことだとしたうえで、この具体的な方向性を表さなくなり、単なる抽象的な方向性を表すようになる *vào* の用法を、「仮想的な方向を表す」 (*biểu thị phương hướng ảo*) ものだとしている。また、意味的には、主体の「縮小」(*sự thu hẹp*)や「参加」(*sự tham gia*)等を表すほか、命令文や願望文では、*dài* (長い)、*to* (大きい)、*nhều* (多い) のような大きな数量を示す形容詞や *hay* (面白い)、*đẹp* (美しい)、*sạch* (清潔な) のような良い品質を示す形容詞を伴う動詞が述語になる場合には、*vào* はこれらの形容詞を動詞化するのに使われるものだと述べて、次の例などを挙げている(pp. 238-240)。

- (5) *Mày đi lấy mấy bát cơm nguội, lấy nhiều vào ...*
 2.SG 行く 取る NUM CLF ご飯 冷めた 取る 沢山
 (冷めたご飯を持ってきなさい。うんとたくさん持ってきなさい)
 (p. 240, Ngô Tất Tố, *Tất Đền*)

さらに、Phạm Hùng Việt (2004)では、形容詞に付いて文末で使われるこのような vào を、話し相手に対してより高い程度の物事の実現を求めたり、または、ある事に対して良くない結果を招いたのは当然だという含みで「やり過ぎだ」と批判したりするのに使われる助詞(trợ từ)の一種だと述べている(p.220)。

以下では、(1)における具体的な vào の用法と、(2)(3)そして(4)のような抽象的な vào の用法との間の関係を探ってみよう。アスペクト・ムード形式として使われる vào と「込む」との対照を試みる。

3. 他の動詞などに付く vào の文法化

3.1. vào の文法化について

一般的には、ある語彙的要素が特定の文脈で繰り返し使われ、文法的機能を果たす要素へと変化する現象を「文法化」という(辻 2002)が、この変化は実質語としての性質の希薄と機能語としての性質の獲得という二つの現象が表裏一体として現れる。

原義(基本的な意味)としては、vào は、「内側にある位置やより狭い位置やベトナム国内では南にある位置への移動」(đi chuyển đến một vị trí ở phía trong, ở nơi hẹp hơn, hoặc ở phía nam trong phạm vi nước Việt Nam)を表すものである(TĐTV1995)。

上の(1)では、vào は「内側にある位置への空間的移動」という、主動詞として(単独で)使われる際の意味をほぼ保持していると言えるし、「家に駆け込んだ結果、彼は家に入っていた」という解釈ができるように、chạy(駆ける)の主体である nó(彼)は、同時に vào(入る)の主体でもあると解釈できる。つまり、(1)の vào はまだ、ほとんど実質語としての性質を喪失していないのである。

これに対し、(2)のような場合には、vịn(寄りかかる)の主体である nó は同時に vào に対しても主体であるというような解釈は、もはや不可能だろう。すなわち、(2)の vào は、何らかな方向性を表しながら、ある領域の中への空間的移動という具体的な意味が薄くなり、幾らか抽象的な意味を表すようになり、機能語としての性質を獲得していると考えられることができる。同様なことが、(3)のような場合にも言える。さらに、(4)のような場合には、語彙的要素としての方向動詞が文法的な機能を果たす要素へと変化していると言える。

以下では、vào のこの文法的な機能について、より詳しく観察する。

3.2. 前置詞相当の働きをなす *vào*

上で述べたように、(1)における *vào* に比べて、(2)と(3)における *vào* は抽象的な方向性を表すようになり、ある程度まで、機能語化している。これには、*vào* の前に使われる動詞の性質に無関係ではないようだ。すなわち、(1)では、*vào* の前に使われるのが移動を示す動詞であるのに対し、(2)(3)の場合には、それは移動を示す動詞ではないということに、*vào* の機能語化は起因すると考えられる。

意味的には、移動を示さない動詞に付く *vào* は、(2)と(6)~(8)のように「依拠」や「定着」を表したり、(3)と(9)と(11)のように、ある対象に目をつけて目標とするという「照準」や「目当て」を表したりするものである。換言すれば、*vào* は、(1)では、<内側にある位置やより狭い位置等への移動>を表すものだったのが、(2)と(6)~(8)では、<あるところへの依拠や定着>を、そして(3)と(9)~(11)では、<ある対象への焦点付け>を表すものになっている。

また、このような意味の変化に伴って、構文的には、この場合の *vào* は前置詞相当の働きをなすものになっていると考えられる。

もっとも、あくまで「前置詞相当」の働きであり、英語の前置詞 *to* や日本語の格助詞「に」等の持つ働きとは違う。この場合の *vào* はまだ、完全には機能語化していないからである。

(6) *Nó đã bị trói vào cọc.*

3.SG PRF PASS くくりつける 杭

(彼は杭にくくりつけられた)

(7) *Mực đã dính vào áo-quần.*

インク PRF つく 服

(インクが服についてしまった)

(8) *Nó dán vào phong-bì một con tem 80 yên.*

3.SG 貼る 封筒 NUM CLF 切手 円

(彼は封筒に 80 円の切手を貼った)

(9) *Tôi muốn đấm một cái vào mặt nó.*

1.SG 欲する 拳で殴る NUM CLF 顔 3.SG

(やつの顔に、パンチを一発お見舞いしたい)

(10) *Phả đánh vào chỗ-yếu của địch.*
 OBL 攻撃する 弱点 POSS 敵
 (敵の弱点を攻撃しなければならない)

(11)=(3) *Anh ta nói thể là nhắm vào tôi.*
 3.M.SG 言う そのように COP 狙う 1.SG
 (彼の言葉は私に向けられたものだった)

さらに、(4)における *mặc cho ấm vào* のような表現になると、*vào* の機能語化は、一層進んだものになる。この場合の *vào* は、動詞としての性質を殆ど喪失してしまっていて、一種の終助詞のように、話し相手に対する話し手の命令や依頼を表すムード形式として働くようになっていていると考えられる。

次に、ムード形式としての *vào* の意味・用法を考察しよう。

3.3. ムード形式としての *vào*

この場合、*vào* は形容詞と組み合わせさせて他の動詞に付き、形容詞の示す性質や状態の程度の水準達成を要求することを表すものである。つまり、ある対象への定着・依拠や焦点付けというより、ある物事の性質や状態の相応しい程度やレベルへの達成や到達の要求を表すものである。例えば、(11)の *mặc cho ấm vào* は「十分に暖かく着るように」という意味で、(12)の *làm cho nhanh vào* は「期待通りに(仕事を)速くやるように」という意味である。(13)~(15)の *vào* の用法にも同様なことが言える。

一方、(16)と(17)の場合は、反語的な表現である。例えば、(16)の *ăn quả xanh cho lắm vào* は「十分に生の果物を食べなさい」という意味ではなく、「生の果物を食べてばかりいたから」という意味の皮肉な言い方である。

なお、(15)の *khéo léo vào* は、*nói cho khéo léo vào* の中の *nói cho* (～ように言う) が省略された表現であり、同様に、(17)の *thuốc lá* も *hút thuốc lá* の中の *hút* (吸う) が省略されたものだと考えられる。

(11)=(4) *Con nhớ mặc cho ấm vào kẻo bị cảm.*
 2.SG 覚える 着る CONJ 暖かい CONJ PASS 風邪
 (ちゃんと暖かく着込まないと風邪をひいてしまうからね)

(13) Các-cậu *phải làm cho nhanh vào* kéo không kịp *đấy*.
 2.M.PL OBL やる CONJ 速い CONJ NEG 間に合う PRT
 (さあ、急がないと間に合わないぞ)

(14) *Phải làm-việc cho chăm-chỉ vào*.
 OBL 働く CONJ 真面目に
 (駄目だよ、真面目に働かなきゃ)

(15) Vào được hay không là do mình.
 入る出来る又は NEG COP に由る 自分

Chị cứ khéo-léo vào là được hết.
 2.F.SG 構わずに 巧みに COP 出来る すべて
 (入れるかどうかは自分次第だ。ちょっと工夫すれば、きつとうまくいくさ)

(16) *Đấy! Ăn quả xanh cho lắm vào, để bây-giờ nhăn mặt*.
 INT 食べる果物生の CONJ 沢山 CONJ 今 歪める 顔
 (ほら！痛みで顔が歪んでいるじゃない。きつと、生の果物を食べてばかりいたからだよ)

(17) __ [...] *miễn-là cô giữ được tiền cho đến khi người-ta bán cho*.
 COND 2.F.SG しまう出来る金 CONJ まで時 人 売る くれる
__ *Chà, đừng-có lo cho em, lo cho anh ấy*.
 INT NEG 心配する BEN 1.SG 心配する BEN 2.SG PRT
Thuốc-lá cho nhiều vào! (CQM)
 煙草 CONJ 沢山

「もし扇風機が売りに出るまで、君がお金をしまっとくことができるならね」
 「ふん何よ。私なら心配ご無用。それよりあなたの方がよっぽど心配よ。
 ちょっと煙草の量が多すぎるんじゃない!」(扇)

注目すべきは、この場合の形容詞は、「長い」や「多い」、「暖かい」や「速い」など、積極的な性質や状態を表すものに限るということである。「少ない」など消極的な性質や状態を表す形容詞は使えない。例えば、

(18) ×Phải ăn cho ít vào.

Cf. (19) ○ Phải ăn ít lại.

OBL 食べる 少ない ASP

(少し少なめに食べるようにしなければならない)

また、構文的には、この場合の vào は(12)~(15)のような命令文や(16)と(17)のような非難文にしか現れないし、形容詞の前に cho を使うのが普通である。換言すれば、平叙文(declarative sentence)に使うと、不自然になる。例えば、

(20) ×Nó đã mặc cho ấm vào.

PRF

Cf. (21)○Nó đã mặc vào cho ấm.

3.SG. PRF 着る CONJ 暖かい

(彼は寒いので、洋服を着こんだ)

(22) ×Các cậu đã làm cho nhanh vào.

(23) ×Nó đã làm việc cho chăm chỉ vào.

4. ベトナム語の vào と日本語の「~こむ」との対照

ベトナム語の、他の動詞に付く vào に対応する日本語の表現には、「~込む」や「~込める」や「~入る」や「~入れる」などがある。例えば、

(24) Nó đã lao vào ngôi nhà đang bốc-cháy.

3.SG PRF 突っ走る CLF 家 PROG 炎上する

(彼は炎上している家に飛び込んだ)

(25) Các con-tin đã bị nhốt vào căn phòng đó.

PI 人質 PRF PASS 閉じる CLF 部屋 その

(人質たちはその部屋に閉じ込められた)

(26) Roi vào cạm-bẫy của địch.

落ちる 罠 POSS 敵

(敵の術中に落ち入る。(陥る))

- (27) Một chiếc xe-buýt cỡ-lớn đang chạy vào trong sân-trường.
 NUM CLF バス 大型 PROG 走る 中 校庭
 (大型バスが校庭に乗り入れています)

以下では、*vào* と「～こむ」との間の類似点及び相違点について観察する。まず、日本語の複合動詞の後項として使われる「こむ」の意味・用法について概観してみよう。

類型論的には、日本語が膠着型言語であるのに対し、ベトナム語は孤立型言語である。そのため、同じく他の動詞に付くとは言っても、ベトナム語の場合、*vào* のすぐ前に、目的語の名詞や副詞などを使う事が出来るのに対し、日本語の場合には、出来ない。例えば、

- (28) Nó nhét quần áo vào ba-lô.
 3.SG 詰める 服 リュックサック
 (彼は服をリュックサックに詰め込んだ)
 (29) ×彼は服を詰めリュックサックに込んだ。

4.1. 日本語の「～こむ」の意味・用法

「～こむ」の意味・用法については、姫野(1999)や松田(2001)や松本(2009)等の研究がある。ここでは、例として、姫野(1999)の要点を紹介する。

姫野(1999:59-73)によると、「～込む」の複合動詞は、主体あるいは対象がある領域の中へ移動することを表す「内部移動」と動作・作用の程度が進行することを表す「程度進行」に分けられ、前者は、さらに以下の a-g のように7つに分けられるという。また、後者の「程度進行」も以下の h,i,j のように3つに分けられる(p.69-73)という。*Vào* との対照をしてみると、一般に、a-e の場合の「こむ」が *vào* と対応するのに対し、f-j の場合の「こむ」は対応しないと言えるだろう。

- a. 閉じた空間への移動 (例: 駆け込む)
- b. 固体の中への移動 (例: 腕に食い込む)
- c. 流動体の中への移動 (例: 酒につけこむ)
- d. 間隙のある集合体または組織体の中への移動 (例: 人混みの中へまぎれ込む)
- e. 動く取り囲み体への移動。(例: 着こむ、履きこむ)
- f. 自己の内部への移動 (自己凝縮体) (例: 雑草を刈り込む)

- g. その他 (例：見込む、あてこむ)
- h. 固着化。(例：黙り込む、考え込む、思い込む)
- i. 濃密化。(例：冷えこむ、老けこむ、咳き込む)
- j. 累積化。(例：使いこむ、磨きこむ、(パンを)練り込む)

また、「～こむ」の持つニュアンスについては、姫野(1999:79-81)は「内部移動」を表す「～こむ」に次のようなニュアンスを伴うことがあると指摘している。

- (a) 全体がすっかり奥深く入るという感じがある。(例：水の中などに物を浸しこむ)
- (b) いったん入ったら動かないという固定感がある。(例：人の家に土足で上がりこむ)
- (c) 予期せぬものが入るという抵抗感がある。(例：他人の家に住みこむ)
- (d) 人の行動を表す場合、意志性や目的意識が強いという感じがある。(例：役立つ情報を聞きこむ)

次に、vào と「～こむ」との対応関係を見よう。

4.2. vào に対する「～こむ」の使い方

4.2.1. 内側にある位置への移動を表す vào の場合

この場合には、「～こむ」も使えることが多いようだ。例えば、(1)の *chạy vào* に対する「駆け込む」の他に、以下のような例もある。

(30) *Nhảy vào đất địch.*

跳ぶ 土地 敵

(敵地に乗り込む)

(31) [...] *vừa tắt đèn chui vào màn thì chợt nghe gọi rất to:* (HAN)

たところ 消す 灯 潜る 蚊帳 TOP 突然 聞く 呼ぶ とても 大きい

(灯を消して蚊帳にもぐり込んだちょうどその時、大声で呼ぶ声がした) (ハン)

(32) Núi ngoài-xa xanh một màu xanh nhạt dần.

山 遙か彼方 青い NUM 色 青い 薄い 徐々に

rồi lần vào chân-trời ngập nắng. (HAN)

それから紛れる 地平線 一杯である 日差し

(はるか彼方の青い峰は徐々に淡さを増してゆき、日差しを浴びた地平線に融けこんでいった) (ハン)

4.2.2. あるところへの依拠や定着を表す vào の場合

これは、vào が前置詞相当の働きをなす場合であり、一般的には、「～こむ」を使うことができないようだ。例えば、

(33) Tôi thấy nó ngồi tựa vào tường.

1.SG 見る 3.SG 座る もたれる 壁

(私は彼が壁にもたれて座っているのに気付いた)

(34) Bác-sĩ phải dọa trói nó vào giường, nó mới chịu vâng-lời.

医者 OBL 脅かす 縛る 3.SG 寝台 3.SG やっと 諦める 従う

(医者が彼を寝台に縛り付けると脅かしてやっと彼は従った)

4.2.3. ある対象への焦点付けを表す vào の場合

この場合にも vào が前置詞相当の働きをなし、一般的には「～こむ」が使えないようだ。

(35) Hãy gắng tập-trung sự chú-ý vào vấn-đề đó.

IMP 努める 集中する 事 注意 問題 その

(その問題に 注意を集中するように努めなさい)

(36)=(10) Phải đánh vào chỗ-yếu của địch.

OBL 攻撃する 弱点 POSS 敵

(敵の弱点を攻撃しなければならない)

次に、「～こむ」が使われる場合を見よう。

4.3. 「～こむ」に対する vào の使い方

以下の例に示すように、内側にある位置への移動を表す「～こむ」には、vào も使えることが多いが、主体または対象の形態や量の縮小を表す「～こむ」と予想以上や予想外の事態を表す「～こむ」と「程度進行」を表す「～こむ」には、一般的に、vào が使えないようだ。

もともと、「こむ」の用法と vào の用法との間に、いわば「認知法の違い」による相違点もある。

例えば、「誰かが橋の上から ジャンプして川へ向かって飛ぶ」ような状況を指して、日本語では「川へ飛び込む」というが、ベトナム語では *nhảy* (とぶ) vào (入る) *sông* (川) ではなく、*nhảy* (とぶ) *xuống* (降りる) *sông* (川) と言うだろう。

これは、同じ「橋の上から川への移動」を見るのに、両言語の見方が違うからだと考えられる。つまり、日本語では、外側から内側への移動だと認識するのに対し、ベトナム語では、上から下への移動だと認識するのである。

4.3.1. 内側にある位置への移動を表す「～こむ」の場合

(37) 梶はこんどこそ本当に改札口の人混みの中へまぎれ込んで行った。

(井上靖「あした来る人」/ 姫野 1994)

(Lân-này thì Kaji đã thật-sự lẫn vào trong đám-đông ở chỗ-soát-vé)
 今度 TOP PRF 本当に 紛れる中 人混み に 改札口

(38) 爪は鷹匠の左腕に食い込んだ (戸川幸夫「爪王」/ 姫野 1994) :

(Móng chim *cắm sâu vào* cánh-tay trái của người nuôi chim-ung)
 爪 鳥 差す深く 腕 左 POSS 人 飼う 鷹

(39) マナガツオは酒としょう油に四時間つけこむ。(新聞/ 姫野 1994) :

(Cá-chim thì ngâm vào rượu và xì-dầu trong 4 giờ)
 マナガツオ TOP つける 酒 と 醤油 中 時間

4.3.2. 主体または対象の形態や量の縮小を表す「～こむ」の場合

(40) 雑草を刈り込む。

(Cắt (× vào) cỏ-dại)
 刈る 雑草

- (41) 川岸にしゃがみ込む。
 (Ngồi-xôm (× vào) bên bờ sông)
 しゃがむ 際 岸 川

4.3.3. 予想以上や予想外の事態を表す「こむ」の場合

- (42) 今月は3万円も使い込んだ。(学研)
 (Tháng- này {tiêu-lạm / × dùng vào} đến 30 ngàn yên)
 今月 濫費する 使う まで 千 円

- Cf. (43) Căn nhà đó là di-sản dùng vào việc-thờ-cúng.
 CLF 家その COP 遺産 使う 祭祀
 (その家は祭祀を行う際に使われる遺産です)

- (44) 食糧を買い込む。(学研)
 (Mua trữ lương-thực / × Mua vào lương thực)
 買う貯める 食糧

- (45) 他人の家に住む込む。(姫野)
 (Ở {ngay / × vào} trong nhà người-khác)
 住む すぐ 中 家 他人

この「予想外」というニュアンスこそ、他の動詞に付く場合の「～こむ」と *vào* との間の最も顕著な相違点だと言える。具体的には、例えば、「連れ込む」と *dẫn vào* とは同じ意味を表すものではない。日本語の「連れ込む」はより抽象的な意味を持ち、*dẫn về* に対応するのに対し、ベトナム語の *dẫn vào* はより具体的な意味しか持たず、「連れて入る」に対応すると言える。例えば、

- (46) 飼ってる猫が色んな猫を家に連れ込む。
 (Con mèo tôi nuôi dẫn về nhà nhiều con khác)
 CLF 猫 1.SG 飼う 連れる帰る 家 PL CLF 他の

- (47) 女の子を部屋に連れ込む。
 (Dẫn con-gái về phòng)
 連れる 女の子帰る 部屋

- (48) Nó dẫn tôi vào nhà.
 3.SG 連れる 1.SG 入る 家
 (彼は私を家の中に連れて入った)

4.3.4. 程度進行を表す「～こむ」の場合

この場合の「～こむ」をベトナム語に翻訳するのに、(53)のような擬態語や(54)のような擬音語や(57)のような副詞などを使ったり、(50)と(51)のような一つの単語を使ったりすることが多いようだ。

h. 固着化。例えば、

- (49) 黙り込む: Nín thình
 (50) 考え込む: Trầm ngâm
 (51) 思い込む: Ngỡ, định ninh v.v.

i. 濃密化。例えば、

- (52) 冷えこむ: Lạnh cóng, rét đậm
 (53) 老けこむ: Già sòm
 (54) 咳き込む: Ho sù sù

j. 累積化。例えば、

- (55) 使いこむ: Dùng lâu ngày
 (56) (廊下を) 磨きこむ: Chùi sạch bóng (hành lang)
 (57) (パンを) 練り込む: Nhào kỹ (bột bánh mì)

(58) 彼を殺人の正犯だと思い込んだ。

- (Tôi cứ ngỡ nó là chính-phạm trong vụ-án-mạng ấy)
 1. SG それでも 思い込む 3.SG COP 正犯 中 殺人事件 その
 (×Tôi cứ nghĩ vào ...)

(59) 立花静は私の言葉について、しばらく考え込むふうをした。(鉄)

- (Tachibana Shizuka trầm-tư hồi-lâu trước lời giải-thích của tôi) (NĐT)
 考え込む しばらく 前 言葉 説明 POSS 1.SG
 (×Tachibana Shizuka suy nghĩ vào ...)

なお、この「程度進行」という意味に関しては、例えば「思いこむ」の「こむ」は「密度や強度の相（心理的相）」という「三次的アスペクト形式」だと

認定する研究（寺村 1984:167-183）もある。つまり、「思いこむ」等の「こむ」はアスペクト形式でありながら、ムード的な性格も帯びるようになってきているというのである。

このことから、*vào* も「こむ」も、「内側にある位置などへの移動」を表すという事柄的な（コト的な）形式から、「思いこむ」のように「心理的相」というアスペクト形式になったり、*làm cho nhanh vào*（十分に速くしなさい）のように「物事の性質の相応しい程度への達成の要求」を表すムード形式になったりする文法化を被っていることが分かる。

ただ、心的態度の表現として、*vào* と「こむ」との間に微妙な違いが感じられる。認識動詞に「こむ」が結合した「思い込む」や「決め込む」という表現には「その認識が正しいとは限らないというニュアンスが含まれたり[...]その決定が誤っているかもしれないという疑い」が伴われ（姫野 1999:70-71）、
「こむ」が事柄に対する態度や評価を表すのに対し、*vào* が形容詞と組み合わせることで他の動詞に付く場合は、対話する相手に対する働きかけを表す。

5. まとめと今後の課題

以上、ベトナム語の *vào* の文法化について、他の動詞の後ろに使われる場合を中心に考察して、日本語の複合動詞の後項として使われる「こむ」との対照を試みた。まとめると、次のようになる。

	内側にある位置への移動	依拠や定着	焦点付け	ある水準達成の要求	形態や量の縮小	予想以上や予想外の事態	程度進行
- <i>vào</i>	○	○	○	○	×	×	×
～こむ	○	×	×	×	○	○	○

1. 移動動詞の後ろに使われる *vào* と「こむ」は、内側にある位置への移動を表す点で、共通するが、移動性のない動詞の後ろに使われるようになると、つまり外側から内側への方向が抽象化すると、両者の間に違いが生じてくる。*vào* がある名詞を伴ってその指示物への依拠・定着や焦点付けを表すのに対し、「こむ」は主体または対象の形態や量の縮小や、予想外の事態の発生を表すようになる。

2. また、心的態度を表す用法では、程度進行を表す「思い込む」などの場合は、「こむ」が、密度や強度に関する「心理的相」という、いわば「対事的モードに関する文法形式」であるのに対し、ある水準達成の要求を表す *làm cho nhanh vào* などの *vào* は「十分に速くしなさい」という「対人的モードに関する文法形式」であると言える。「対事的モード」と「対人的モード」に関しては、寺村（1992:253）を参照されたい。

Vào の文法化現象は、*vào mùa Hè*（夏には）や *cẩn cứ vào đó*（それを基準にして）といった表現文型にも見られるが、今後の課題としたい。

グロス略語一覧

1: 1人称	COP: 繫辞
2: 2人称	IMP: 命令
3: 3人称	INT: 間投詞
M: 男性	NEG: 否定
F: 女性	NUM: 数詞
SG: 単数	OBL: 義務
PL: 複数	PASS: 受け身
ASP: アスペクト形式	POSS: 所有
BEN: 受益者マーカー	PRF: 完了相マーカー
CLF: 助数詞	PROG: 進行
COND: 条件	PRT: 文末助詞
CONJ: 接続詞	TOP: 主題

引用資料

学研：『学研現代新国語辞典』金田一春彦編、改訂新版、1997.

扇：「扇風機」(*Chiếc quạt máy*)、加藤栄訳.

鉄：浅田次郎『鉄道員』、集英社文庫、2000.

ハン：「ハン」(*Hạng*)『流れ星の光、現代ベトナム短編小説集』、加藤栄訳、新宿書房、1988.

CQM: ‘*Chiếc quạt máy*’, Trần Thùy Mai, 1980.

HAN: ‘*Hạng*’, *Người đàn bà trên chuyến tàu tốc hành*, Nguyễn Minh Châu, Tác Phẩm Mới, 1983.

NĐT: *Người đón tàu* (鉄道員) Phạm Hữu Lợi 訳, Nhã Nam & Hội Nhà Văn, 2010.
 Obunsha: *Obunsha's Comprehensive Japanese-English Dictionary*, 1986.
 TĐTV: *Từ Điển Tiếng Việt*. Hoàng Phê 編, Đà Nẵng & TT. Từ Điển Học, 1955.

参考文献

- 辻幸夫. 2002. 『認知言語学キーワード事典』 研究社
 寺村秀夫. 1984. 『日本語のシンタクスと意味Ⅱ』 くろしお出版
 _____. 1992. 『寺村秀夫論文集Ⅱ－言語学・日本語教育編－』 くろしお出版
 姫野昌子. 1999. 『複合動詞の構造と意味用法』 ひつじ書房
 松田文字. 2001. 「コア図式を用いた複合動詞後項「～こむ」の認知意味論的説明」、『日本語教育』 111 号、日本語教育学会
 松本曜. 2009. 「複合動詞「～込む」「～去る」「～出す」と語彙的複合動詞のタイプ」由本陽子、岸本秀樹編『語彙の意味と文法』くろしお出版
 レー・バン・クー . 1990. 「日越両語における複合動詞「～だす」と「～RA」との対照研究」『日本語教育』 N. 72
 _____. [村上雄太郎]. 2002. 「「空間の移動」から「認識の移動」へーベトナム語の方向を示す移動動詞“ra”の場合ー」青木三郎、竹沢幸一編『空間表現と文法』くろしお出版
- Cao Xuân Hạo. 1991. *Tiếng Việt- Sơ thảo ngữ pháp chức năng (I)* HN:KHXH.
 Nguyễn Đình Hoà. 1972. Vietnamese Categories of Result, Direction, and Orientation, in Smith (ed.) *Studies in Linguistics in Honor of George L. Trager*. The Hague: Mouton.
 Nguyễn Kim Thân. 1977. *Động từ trong tiếng Việt*. HN: KHXH.
 Panfilov. 1979. [G. L. 訳] “Các cấp thể và các chỉ tổ tình thái-thể trong tiếng Việt”. *Ngôn Ngữ*, N.2 HN.
 Phạm Hùng Việt. 2004. *Trợ từ trong tiếng Việt hiện đại*. HN: KHXH.
 Phan Khôi. 1997 (1955). *Việt ngữ nghiên cứu*. Nxb. Đà Nẵng.
 Trần Thị Nhân. 2005. Ngữ pháp hóa các động từ trong tiếng Việt, *Những vấn đề ngôn ngữ học, Kỷ yếu hội nghị khoa học 2003*, HN:KHXH.
 Traugott, E. & Heine B. 1991. *Approaches to grammaticalization*, 2 Vol. John Benjamins.